

＜集会決議(案)＞

2025年11月25日

新潟県知事 花角英世様

柏崎刈羽原発再稼働の是非を考える新潟県民ネットワーク
県庁包囲「人間の鎖」参加者一同

【緊急申し入れ】知事の判断に抗議し、「県民に信を問う」公約の遵守を重ねて求めます

花角英世・新潟県知事は21日、柏崎刈羽原発の再稼働について「容認」の判断を示した上で、これを議会に諮ることを表明しました。

多くの県民が依然として再稼働への不安を表明しているにもかかわらず、知事の判断は「脱原発の社会をめざす」「県民に信を問う」とした知事自身の公約に明らかに反します。原発再稼働の是非への自らの意思を知事選や直接投票で示したいと期待した県民を裏切るもので、私たちも大きな怒りと失望を禁じ得ません。判断にあたって示された文書や会見で表明された見解も、強弁と言い訳に終始した説得力に欠けるものでした。(資料参照)

また、判断が示される前日(11月20日)に、原子力規制委員会の臨時会合で柏崎刈羽原発のテロ対策の不備が明らかになりました。その重大性評価が保留されている局面での判断にも、その正当性・合理性が疑われるものです。

今回の知事判断は、再稼働の是非という議論にとどまらず、県民の意思をどう丁寧に受け止めかという、民主主義の根幹に関わるきわめて重大な問題であり、将来にわたって大きな禍根を残すものです。そもそも知事は、二元代表制の下、議会ではなく県民から選ばれているのであり、自らの進退をかけて重要な政策決定を行なうならば、その信は県民に問うべきで、議会の信任は県民の信任に代わるものではありません。詭弁を弄して姑息な判断を正当化するのは、不誠実極まりない見苦しい言い逃れに他なりません。この判断こそ「県民に信を問う」ことによりその正当性が問われなければなりません。

私たちは、知事の不当な判断に強く抗議するとともに、県議会での議決が「県民に信を問う」ことの代わりにはならないことを重ねて指摘し、県民一人一人が意思を表明する県民投票の実施こそが必要であると確信し、その実施を引き続き強く求めます。

以上

＜12月県議会日程＞

12/2(火)13:00～本会議(開会)、連合委員会(議案説明)	12/8(月)10:00～本会議(一般質問)
12/4(木)10:00～本会議(代表質問)	12/16(火)10:00～連合委員会
12/5(金)10:00～本会議(一般質問)	12/22(月)13:00～本会議(採決、閉会)

◆◇カンパのお願い◇◆

緊急行動や情報発信等の活動を支える資金は、皆様の温かなご支援だけが頼りです。
なにとぞ、ご協力をいただけますよう宜しくお願ひいたします。

口座振り込み 新潟かがやき農業協同組合・坂井輪支店

普通0072238 新潟県民ネット代表田中忍

注:クレジットカード決済はホームページか、右のQRコードからお入りください。

